

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 8 回玉里地区義務教育学校開校準備委員会
開 催 日 時	平成 3 0 年 1 2 月 1 9 日 (水) 1 9 時 0 0 分～
開 催 場 所	玉里保健センター 集団検診室
出 席 者	<p>【出席委員】 大平 勇一 大石 幸子 大山 敏治 室町 恭司 遠藤 康子 中山 恵弘 大関 律子 田中 周 稲田 義弘 園部 文夫 新妻 広章 圓尾 康子 田山 恵子 羽鳥 文雄 大枝 利任 大島 利則 鶴町 文男 長谷川忠徳 田上 義明 亀井 優 藤田 泰正 室町 弥 大山 徳 相澤 博文 青木 寿美 山口 祐甚 向後 鷹宏</p> <p>【欠席委員】 戸田 大我 埴 千春 伊藤 岳快 鈴木 秀和 櫻井 勝美 山口 裕希 鬼束 久也 高野 郁 大和田智弘 戸田 見成 大槻 良明 荒井 敦 菊地 淳平</p> <p>【事務局】 加瀬 博正 長津 智之 白井 律子 吉永 成範 菅谷 清美 藤田 誠一 長谷川勝彦 植田 薫 外之内信浩 入野裕美子</p>
内 容	・ 専門部会からの報告
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)

【教育長あいさつ】

年末を控え、また非常に寒いところお集まりいただき、ありがとうございます。

12月17日（月）の市議会の議決を得て、新しい学校の校名は、「小美玉市立玉里学園義務教育学校」に決定いたしました。

また、現在の工事の進捗状況について、このあと報告があるかと思いますが、玉里小学校のプールを解体し、テニスコートを新設しました。

さらに、年明けにテニスコートの段差を平らにするための、準備を整えているところです。

今後とも、学校建設のためにご協力をいただければありがたいと思います。

よろしく願いいたします。

【協 議】

（1）総務・通学部会からの報告

委員長 本日の協議事項は、総務・通学部会からの報告、学校運営部会からの報告となっている。

まず、総務・通学部会からの報告について、総務・通学部会部会長 中山委員より説明をお願いしたい。

◆資料1、部会資料1～5に基づき、部会長より説明

委員長 まず制服について、意見や質問等はあるか。

委 員 学年区分は、「4-3-2」であるが、なぜ制服は7年生からの着用とするのか。

部会長 7年生から9年生は教育課程の上では中学生であり、中学生が主体の対外的な行事など、制服を着用する機会が多い。そのため、中学生である7年生からの着用が良いという意見でまとまった。

また、近隣市町村の義務教育学校についても調べたところ、制服は7年生から着用としている学校が多かったことも踏まえ、7年生の着用とすることとした。

委 員 「4-3-2」の学年区分とは、あくまで玉里の義務教育学校としての区分であり、学校の制度上は「6-3」であるため、中学生である7年生からの着用として良いと思う。

副委員長 「4-3-2」の学年区分は、教育活動における学校としての区分である。このあと、学校運営部会からの報告においても説明があるかと思うので、内容を確認していただきたい。

委 員 制服は、お下がりを着用することもあるため、現行のデザインで良いのではないか。

また、セーラー服が良いというのは、保護者の意見に感じる。

部会長 前回の準備委員会において、制服・体操服のデザインを新しくするという

	<p>ことで決定した。</p> <p>また、移行期間を設け、現行のデザインも着用できることとする。</p>
委員	<p>詰襟について、変形※の懸念がある。</p> <p>※上着の丈が長いまたは短いなど、標準型とは異なる仕様。</p>
委員長	<p>部会において議論はしていないが、原則として変形は認めないこととする。</p>
委員長	<p>続いて体操服について、意見はあるか。</p>
委員	<p>半袖体操服について、学校行事の際は学校指定品を着用するが、行事以外では市販品を着用できることとするとしたが、どういった意図で決定したのか。</p>
部会長	<p>半袖体操服について、白色には、透け感等の懸念があるという意見があがったが、夏の暑い時期は白色が良いのではないかという意見もあった。</p> <p>そのため、学校行事では学校指定品を着用して、統一感を出し、行事以外では、市販品も着用できることとした。</p> <p>また、色について、学校指定品は白色とするが、市販品の色は白色以外も検討することで、透け感等にも対応できるのではないかという意見でまとまった。</p> <p>さらに、最近の市販品は、さまざまな素材のものが販売されているため、自由に選ぶことができると考え、提案した。</p>
委員	<p>体操服のデザインを新しくするのであれば、あいまいな部分を作らず、例えば透け感が気になるのであれば、学校指定品の色を紺色とするなど、着用するものは統一したほうが良いと思う。</p> <p>現在の玉里中学校の半袖体操服は白色だと思うが、紺色としても何か問題が生じるとは考えにくく、市販品は、家庭によって差が生じる懸念もある。</p>
部会長	<p>最近の市販品は、良い素材で低価格なものも販売されており、学校指定品の価格よりも安く購入することもできると考える。</p> <p>家庭によってどのような素材や価格帯のものを購入するかを自由に選択することができるため、市販品を着用できるようにすると良いという意見でまとまった。</p>
委員	<p>白色の透け感への懸念があがっているが、それではなぜ学校指定品を白色とするのか。暑さ対策などは、素材を選ぶことで対応できると思う。</p>
部会長	<p>白色の透け感への懸念については、事業者から提案のあったものから透けにくい素材のものを選んでいければ良いということでもまとまった。</p> <p>また、現在の小中学校で着用している半袖体操服が白色であることも踏まえ、学校指定品は白色にすることとした。</p>
委員	<p>保護者の立場では、白色の懸念はあった。</p> <p>また、保護者の意見を集約したところ、白色は透け感だけでなく、毎日着用するものなので、すぐに汚れてしまうという意見もあがり、特に女の子は汗染み等が気になるという意見も聞かれたため、保護者と子どもどちらの観</p>

点からも、白色の懸念は大きい。

そのため部会では、白色ではなく、他の濃い色ではどうかと提案したが、部会で話し合いを進めるなかで、行事などで何百人の児童生徒が揃ったときに、白色は綺麗で清いイメージがあるという意見があがり、納得した。

また、市販品の場合の色については、今後体操服のデザインが決定したあとに、検討することとし、素材については、現在着用している体操服の素材が子どもと合わないという意見が保護者からあったため、自由に素材が選べるよう、幅を持たせるようにしたいと考えている。

以上を踏まえ、学校行事の際には学校指定品は白色で統一し、普段着用するものについては、市販品を着用できるようにしてはどうかということで、意見がまとまった。

委員長 その他に意見はあるか。

委員 半袖体操服について、袖回りや腕回りは色付きとするのか。

部会長 事業者には、「基本色は白色」として、デザインも含めて募集し、選定していくこととしている。

委員長 報告のなかに、第一次選定において幼稚園、保育園のPTAの準備委員にも審査員にも参加してもらってはどうかとの提案があったが、意見はあるか。

－ 意 見 等 ｾ ー

委員長 それでは、幼稚園・保育園のPTAの準備委員にも第一次選定に参加してもらおうということで進める。

委員 第一次選定において子どもに見てもらうことは可能か。

委員 選定の前に、学校に展示することは可能か。

事務局 第一次選定は、総務・通学部会員とPTA部会員、そして今回決定した幼稚園・保育園のPTAの準備委員の審査によって行うこととするが、最終選定は、PTA総会において実施し、各小中学校に展示するため、選定の前に児童生徒に確認してもらうことは可能である。

委員 制服について、最終選定では、「詰襟×セーラー服」と「ブレザー×ブレザー」のそれぞれ1種類ずつからしか選べないことになるが、選択肢としては少ないのではないか。

部会長 参加する事業者数はまだ分からないが、最終選定において、すべてのデザインから保護者に選定してもらうのは数が多く難しいため、第一次選定において2セットに絞った上で選定してもらうこととなった。

委員 提案は、【「詰襟×セーラー服」と「ブレザー×ブレザー」の1セットずつの合計2セット】または【どちらか1セットのみ】で募集するため、提案において出てくる1種類あたりのセット数に差が生じる可能性がある。

そのため、第一次選定時に1種類につき1セットずつに数を揃えた上で、

最終選定で投票してもらったほうが良いということとなった。

委員 部会資料1のアンケート結果を見ると、【小学生】の回答では、ブレザーの方が多いが、この意見は参考としないのか。

事務局 このアンケートは、「中学生が制服を着用した場合」と「小学生が制服を着用した場合」について質問しており、結果も【中学生】、【小学生】に分けて記載している。

委員 「小学生は私服」と回答した人が多いため、「小学生が制服を着用した場合」の回答については、検討はしなくても良いと考える。

委員 アンケートの対象に中学生が入っていないのはなぜか。

部会長 平成33年の開校時は、現在の中学生は卒業してしまい、新しい制服と体操服を着用することはないため、アンケートの対象とはしなかった。

委員長 それでは、決定事項の確認をさせていただく。

まず、第一次選定の審査委員は、総務・通学部会員、PTA部会員、幼稚園・保育園PTAの準備委員とする。

また、最終選定は、各小中学校の保護者及び教職員による投票とし、児童生徒は選定には加わらないこととする。

委員 投票は保護者によって行うが、最終選定の前に、児童生徒に見てもらう期間を設け、保護者と話し合ってもらうようにすると良いと思う。

委員長 展示する期間や日程の調整を含め、今後検討する。

そのほかについて、部会の報告のとおり、進めていくことで決定して良いか。

－意見等なし－

それでは、報告のとおり進めていくことで決定する。

委員長 続いて、校章及び通学体制について、部会長より説明をお願いしたい。

資料1、部会資料3～5に基づき、部会長より説明

委員長 まず、校章について、意見はあるか。

参考として、平成31年4月開校の小川南小学校の校章について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局 小川南小学校の校章は、地区に在住のデザイナーの藤代範推氏に作成を依頼し、デザインは決定している。

委員長 報告内容を確認すると、校章の作成について、部会においては、子どもの発想を取り入れたいとの意見があがったことから、公募とすることで意見がまとまった。

公募することで進めて良いか。

－ 意見等なし －

- 委員長　それでは、部会の報告のとおりとする。
続いて、通学体制について、児童生徒の安全に関わることであるため、慎重に議論を進めていきたいと部会の中での話し合いにおいて出ていた。
遠距離通学の距離については、小川南小学校に倣い、3 km以上とすることで意見がまとまった。
また、生徒（7年生～9年生）については、通学距離が変わらないため、これまでどおり自転車による通学とすることとした。
意見等はあるか。
- 委員　遠距離通学の距離は3 km以上ということだが、例えば、3 kmちょうどの家の児童はどのような対応とするのか。
- 部会長　現段階で、遠距離通学の距離は3 km以上という意見でまとまったが、詳細についてはまだ検討していない。
しかしながら、3 kmという距離ではっきりと区切ることは難しく、3 km周辺をどのように対応するかについては、今後検討していきたいと考えているため、ご意見があればいただきたい。
- 委員　距離について、実際に計測してみたところ、新しい学校から一番遠い場所で4 km以上あり、徒歩で通学することは難しい。
しかし、スクールバス等を出す場合、乗降所はバスが停められる場所であればならず、そのあたりも検討する必要があると考える。
また、徒歩及びバスのどちらでも、登校班で集まって通学することになるため、先に登校班を決定したほうが良いと思う。
- 委員長　通学については、部会資料5のとおり検討していくこととしており、部会でも慎重に検討していく必要がある。
本日の委員会でいただいた意見をもとに、検討を進めていきたいので、多くのご意見をいただきたい。
- 委員　朝の通学はもちろんであるが、帰りの通学は、学年によって下校時刻が異なるため、十分に検討してもらいたい。
- 委員長　先月、土浦市の新治学園義務教育学校を視察し、スクールバスについても確認したが、新治学園義務教育学校では、5・6年生も週に2～3回部活動を行っている。そのため、5・6年生も自転車で通学することがあるなど、利用状況は複雑であり、スクールバスにかかる1週間のシフトを作成しているとのことであった。
このように、懸案事項はさまざまなので、部会や委員会の中で検討していきたい。
- 委員　参考として、小川南小学校のスクールバスの決定事項について確認したい。

事務局 小川南小学校については、スクールバスを4台運行し、朝は1回、帰りは2回運行する。

また、スクールバスにかかる利用者負担は無しと決定しているため、玉里においても、スクールバスを運行することになった場合には、利用者負担は無しとなる。

委員 小川南小学校のスクールバス運行に際して、乗降所が公民館となっている場所があり、バスの転回のために公民館の敷地内の樹木を伐採したという話も聞いており、そのような整備の必要も出てくると考えられる。

事務局 小川南小学校のスクールバスにかかる乗降所設置についてだが、児童の体力の低下を防ぐため、細かく区分して設置せず、また、道路で乗降することがないように、公民館を利用する乗降とすることとした。

委員長 保護者からの意見等はあるか。

委員 部会での話し合いにあたり、保護者から意見を聞いているが、玉里東小学校と玉里北小学校をスクールバスの乗降所とすることはできないかという意見があった。

3kmより近い小学校に乗降所を設置すると、遠距離通学の支援の対象を3kmで区切ることはできなくなってしまうが、安全面を考慮し、集団登校で各小学校まで来て、スクールバスを運行してはどうかという意見が出ている。

跡地の利用状況によっては難しいかもしれないが、意見としては良いと思った。

委員 自転車通学を、高学年からとするのはどうか。

部会長 自転車通学については、7年生から9年生はこれまでどおりとするが、小学生の自転車通学については未検討のため、今後検討していく。

委員 自治体によっては、部活動の関係により、高学年から自転車通学としているところもあり、事故等の懸念も含め検討していく必要があると思う。

委員 通学路の整備についても検討する必要があると思う。

部会長 通学路の中には、歩道があると良いと感じるところもあるため、要望を準備委員会や部会の中でまとめていきたいと思う。

委員長 部会の報告のとおり、今後も検討を進めていくということで良いか。

— 意見等なし —

委員長 それでは、本日あった意見を踏まえ、部会の報告のとおり、今後も検討を進める。

【協 議】

(2) 学校運営部会からの報告について

委員長 続いて、学校運営部会からの報告について、学校運営部会副部長 園部
委員より説明をお願いしたい。

◆資料2、部会資料6、部会資料7に基づき、副部長より説明

規制があるなかでも、9年間の義務教育学校というメリットを最大限に生かして教育を高めていこうということで、検討を進めることとした。

玉里学園義務教育学校の特色ある教育活動をどのように打ち出すかについて、「学び合い」、「郷土学習」、「外国語」という3点が出された。

1点目の「学び合い」について、児童生徒主体で、子どもが自ら考え、お互いが話し合いを行うような授業としたい。

また、タブレット端末等を利用して、教え合うような授業にしていきたいと考えており、現在の玉里小学校、玉里東小学校、玉里北小学校、玉里中学校でもすでに行っているが、これをさらに深めていきたい。

学年区分の真ん中のミドルステージについては、5年生から7年生の区分であり、小中連携が必要となることから、中学校の先生の専門的な分野を指導するため、教科担任制を一部取りいれていきたい。

また、小中連携だけではなく、9年間を通して教育し、学び合いの中でしっかりと学力の子どもたちを育てていきたい。

2点目の「郷土学習」について、玉里地区の豊かな自然の中で、主に総合学習、生活科などの時間に、玉里地区のことを中心に学習したいと考えている。

また、統合後に始めるのではなく、開校までの3年間で各小学校との調整の上、どのように進めていくか検討していく。

3点目の「外国語」について、外国語教育を中心に行っていきたいと考えており、1年生から外国語教育を実施し、能力を伸ばしていきたい。

委員長 学校運営部会からの報告について、意見や質問等はあるか。

— 意 見 等 な し —

委員長 それでは、報告のとおり進めていくことで決定する。

(3) その他

① 工事の進捗状況及び工事計画について

◆工事の進捗状況及び工事計画について、当日配布資料に基づき、事務局より説明。

② 次回の各会議の日程について

◆次回の各会議の日程について、事務局より説明。

第19回準備委員会を、3月中旬に開催予定とする。

また、各専門部会について、第1回PTA部会を1月17日(木)、第4回総務・

通学部会を1月24日（木）、第3回学校運営部会を2月5日（火）に開催する。

最後に、制服・体操服の第一次選定について、2月20日（水）・2月27日（水）の2日間に分けて実施する。

閉会 （20：45）